

8-4-27 システム改善専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動概要

近年、マネジメントシステムは、品質、環境、情報セキュリティ、アセット等建設コンサルタントに関係する規格が多くなってきており、各企業は複数のマネジメントシステムを効果的に運用することに取り組んでいる。中でも、建設コンサルタントにおいてはエラーの撲滅は最大のテーマであり、成果品のエラー防止のツールとして、協会会員企業の多くが導入している品質マネジメントシステム（QMS）の有効活用が期待されている。

マネジメントシステムの運用の仕方も時代とともに変化してきていることから、社会情勢に応じてシステムを見直していくことも必要であり、当専門委員会では、会員企業が QMS を含めたマネジメントシステムを効果的に運用できるよう、有効かつ最新の情報を提供していくことを目的に活動を行っている。

(2) 委員会の開催

委員会は 11 回開催した。

(3) 主な内容

平成 30 年度は、セミナーでの要望、意見を参考にしながら、QMS をさらに効果的に運用するための方策について調査・検討を行い、また、アセットマネジメントシステム（AMS）やその他のマネジメントシステムの最新の動向を調査し整理を行った。

- ・QMS については、ISO9001：2015 の移行に伴い、システムの移行審査を受ける必要があることから、移行に際しての問題点や QMS を運用する上での課題、移行する上での苦労した点等について、会員企業にアンケートを実施し、結果を整理した。さらに、外部審査で指摘された内容についても整理を行い、対応策として有効に運用されている事例を収集した。
- ・日本アセットマネジメント協会（JAAM）の設立や AMS への社会的要求の変化により、JIS Q 55001 の認証を取得する団体が増えてきている

ことから、AMS に関する最近の動向について調査、検討を行った。さらに、今後、建設コンサルタントが AMS に対してどのように取り組む必要があるかについて検討を行った。

- ・平成 30 年 3 月に規格化された ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）等、マネジメントシステムの最近の動向について情報を収集した。

(4) セミナー開催

当委員会の主な活動の成果を、平成 30 年 7 月に全国 9 支部で開催された「マネジメントセミナー」で報告した。

なお、会員企業の参考に資するため、セミナーで使用したパワーポイントは協会ホームページに掲載している。

2. 次年度の活動について

令和元年度は、QMS のさらなる向上を図るための運用について、また、複数のマネジメントシステムを効果的に運用していく上での統合システムについての利点や問題点及びその解決策等の情報を会員企業に提供することを目的に、マネジメントシステムの最新情報や業界の動向、今後の方向性といった情報提供を行うための調査・分析を進めていく。

具体的な活動は、以下のとおりである。

- ・システムの統合を含め、QMS の審査時における指摘と対応策について、アンケートまたはヒアリング調査を行い、有効に運用されているシステムを整理する。
- ・AMS の最近の動向や認証を受けた企業の運用状況について調査する。
- ・マネジメントシステムの全般にわたり、最新の情報を収集する。
- ・上記に関連する内容について、必要に応じて勉強会を開催する。

セミナーでは、これらの調査検討結果についてマネジメントシステムの運用事例を中心に紹介することを考えている。

（システム改善専門委員会委員長 黒木 隆宏）